



『海を渡った人形使節 国際人形交流から見た近代史』

ベレジコワ タチアナ 大阪大学 (ブック・トーク)

Tatiana Berezikova, Osaka University

是澤博昭 大妻女子大学 (コメント)

Hiroaki Koresawa, Otsuma Women's University

『海を渡った人形使節 国際人形交流から見た近代史』は、近代日本における国際人形交流の歴史を明らかにするものである。明治時代以降の日本における人形に関する記述を取り上げ、人形をめぐる思想の変化を分析することで、人形の新しい文化的役割を示す。また、人形をめぐる国際関係の展開を追い、現在まで注目されてこなかった少年赤十字の国際人形交流への貢献、国際人形交流の前例となった「フランス流の玩具外交」の事例などのヨーロッパ諸国の間の人形贈呈の歴史とのつながりについても考察する。人形が近代において国際関係を改善するほどの大きな力を持っていたものとして意識されたことを示唆した。このブック・トークではこれらの問題を取り上げる。



Time December 20, 2021 17:00 – 18:30 (JST)

Place Online with ZOOM (Registration required)

The book talk, comments, and following discussion will be conducted using both English and Japanese.

This event will be held without simultaneous interpretation.

Please register by
17:00 on December 17.